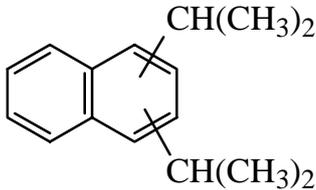


既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	97 - 8	官報公示 整理番号	4 - 961	CAS 番号	38640 - 62 - 9
名 称	ジイソプロピルナフタレン 別名：ビス(イソプロピル)ナフタレン ビス(1-メチルエチル)ナフタレン		構 造 式		
分子式	C ₁₆ H ₂₀		分子量	212.33	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 98 % 以上 不純物 : ジイソプロピルテトラリン、モノ及びトリイソプロピルナフタレン 添加剤又は安定剤：無添加					
特に断りがない限り、各種異性体を含む混合体を指す。					
物理・化学的性状データ 外 観：黄褐色液体 ²⁾ 融 点：文献なし 沸 点：301 ^{3, 4)} 引 火 点：文献なし 発 火 点：文献なし 爆発限界：文献なし 比 重：d ₄ ²⁰ 0.975 ³⁾ 蒸気密度：7.37(空気 = 1) 蒸 気 圧：6.20 × 10 ⁻² Pa(4.65 × 10 ⁻⁴ mmHg)(18 ^{3, 4)} 、1.76 Pa(1.32 × 10 ⁻² mmHg)(50 ^{3, 4)} 分配係数：log Pow；4.90(実測値) ²⁾ 加水分解性：加水分解を受けやすい化学結合なし 解離定数：解離基なし スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 197(基準ピーク, 1.0)、155(0.46)、181(0.14)、141(0.12)、128(0.12) ⁵⁾ 吸脱着性：土壌吸着係数 K _{oc} = 11,000 ~ 14,700 ²⁾ 粒度分布：該当せず 溶解性：水に不溶。 アルコール、エーテル、ベンゼンなどの有機溶媒と自由に混和。 換算係数：1 ppm = 8.83 mg/m ³ (気体, 20 ³⁾) 1 mg/m ³ = 0.113 ppm					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質のヒトに対する影響の報告はない。実験動物ではラットの反復経口投与で肝臓や脂質代謝への影響がみられ、経皮投与で皮膚の肥厚などが観察されている。変異原性・遺伝毒性、発がん性に関する報告はなく、マウスにおける生殖・発生毒性で異常はみられていない。

本物質は環境中に放出された場合、物理化学的性状から主として底質中に分布するものと予想される。対流圏大気中での OH ラジカルとの反応による半減期は 5.4 時間、水中での直接光分解による半減期は 6.4 ~ 16.0 時間とそれぞれ計算されている。水圏環境中では好氣的分解を受けにくい。環境庁のモニタリングデータでは底質及び魚類中から検出されている。水圏環境生物に対する急性毒性については、藻類及び甲殻類に対しては有害性の分類に必要なデータが報告されていない。魚類に対しては toxic に該当する。

2) 指摘事項

- (1) 実験動物で肝臓や脂質代謝への影響と、皮膚の肥厚などが観察されている。
- (2) 蓄積性が比較的高いので水圏環境生物に対する生態毒性についてのデータが必要である。
- (3) 毒性に関するデータが少ないので、変異原性試験等のデータが必要である。
- (4) ほ乳動物で肝臓と脂質代謝に対する影響がみられる。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(1997).
- 2) Hazardous Substances Data Bank(HSDS), U.S.National Library Medicine(1996).
- 3) 環境庁環境化学物質研究会編, 環境化学物質要覧, 丸善(1988).
- 4) 後藤稔, 池田正之, 原一郎編, 産業中毒便覧・増補版, 医歯薬出版(1991).
- 5) NIST Library of 54K Compounds.